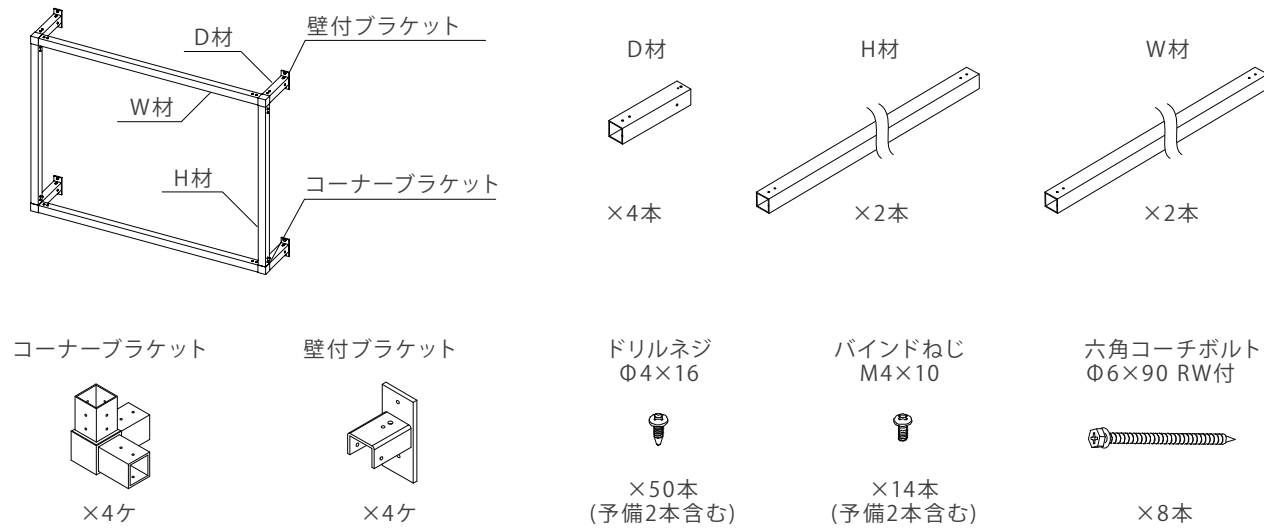


このたびは、マルチフレーム SCUAをお買い上げいただき、ありがとうございました。

お取り付けの前にこの施工説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法でご使用ください。本書は大切に保管してください。

※本書はSCUAの組立・施工を行う際の基本的な説明書です。現場の状況によっては組立・施工方法が変わる場合があります。

梱包内容



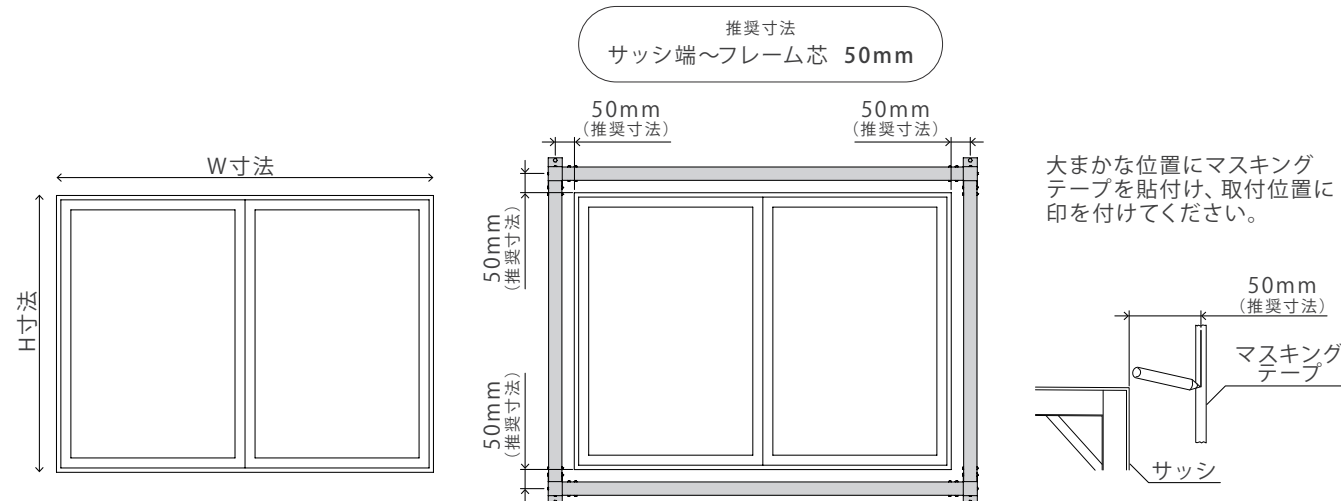
必要工具



1. 設置位置の確認

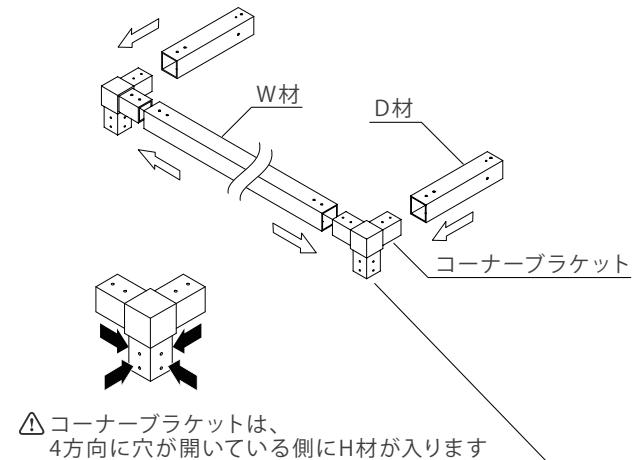
設置するフレームのサイズと、サッシのサイズを測定し、サッシとフレームが縦横中央揃えになるように、設置位置を決定してください。

⚠ 「納まり図」を参照し、必ず下地のある場所に固定してください。



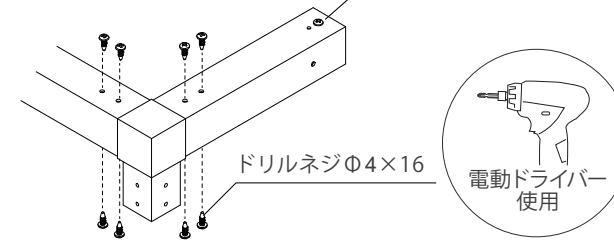
2. 上フレームの組立

①上フレームを電動ドライバーで仮組みしてください。



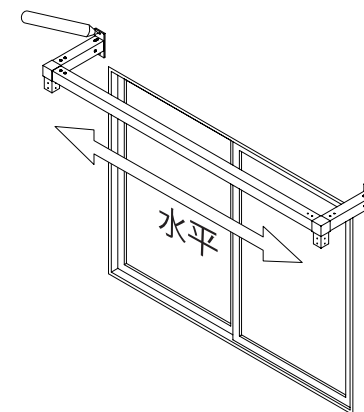
⚠ コーナーブラケットは、4方向に穴が開いている側にH材が入ります

⚠ D材は、M4×10が付いている側が上面です



4. 上フレームの野書き

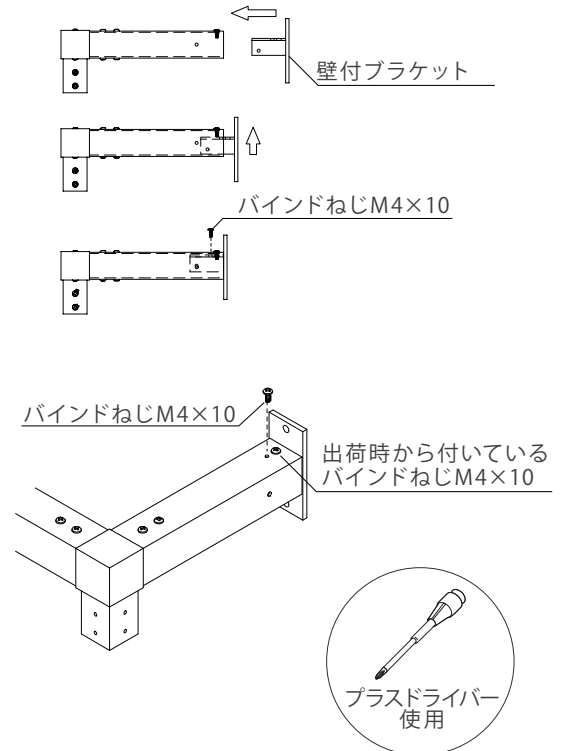
上フレームを設置位置に合わせ、壁付ブラケットの穴位置に印を付けてください。



3. 壁付ブラケットの仮固定

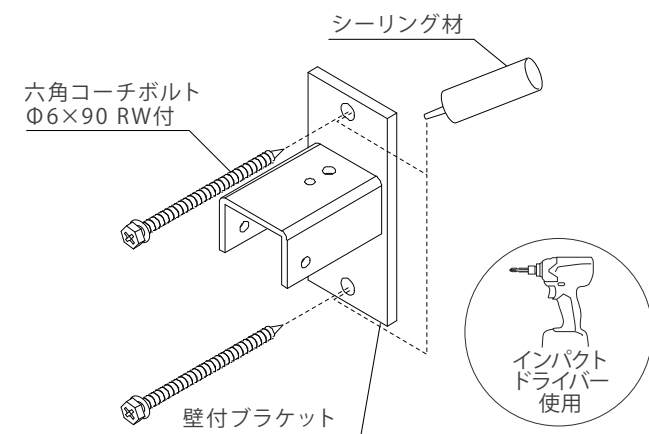
①組み立てた上フレームと壁付ブラケットを仮固定してください。

D材1本につき1ヶ所、バインドねじM4×10が工場に取り付けられています。(このバインドねじM4×10は仮設置の際使用します。) それを避けるように壁付ブラケットを差し込んでバインドねじM4×10で固定してください。



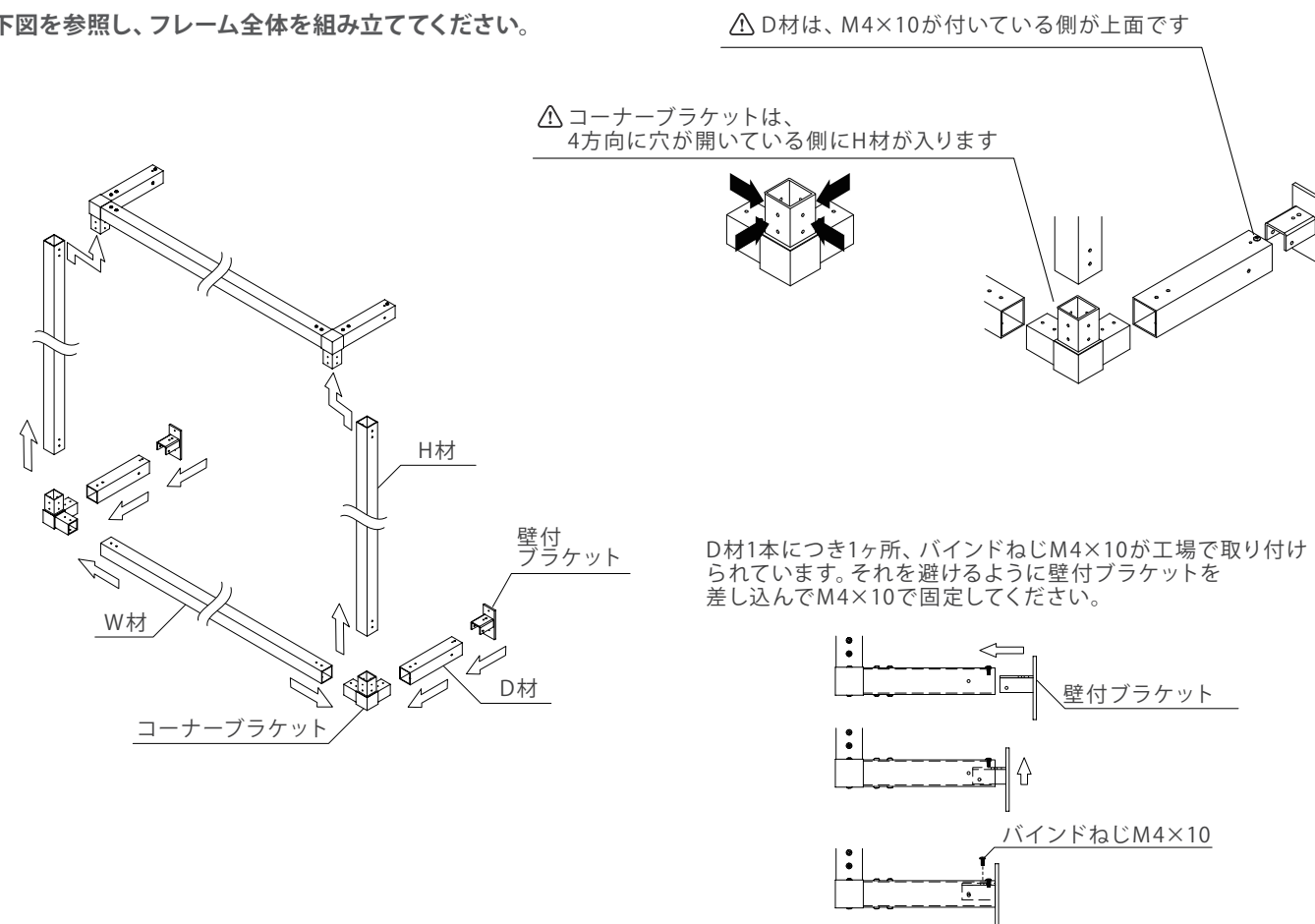
5. 壁付ブラケットの設置

仮固定した壁付ブラケットを上フレームから外してください。印の位置に下穴Φ4.2を開け、壁付ブラケットをコーチボルトΦ6×90で固定してください。



6. フレーム全体の組立①

下図を参照し、フレーム全体を組み立ててください。



7. フレーム全体の組立②

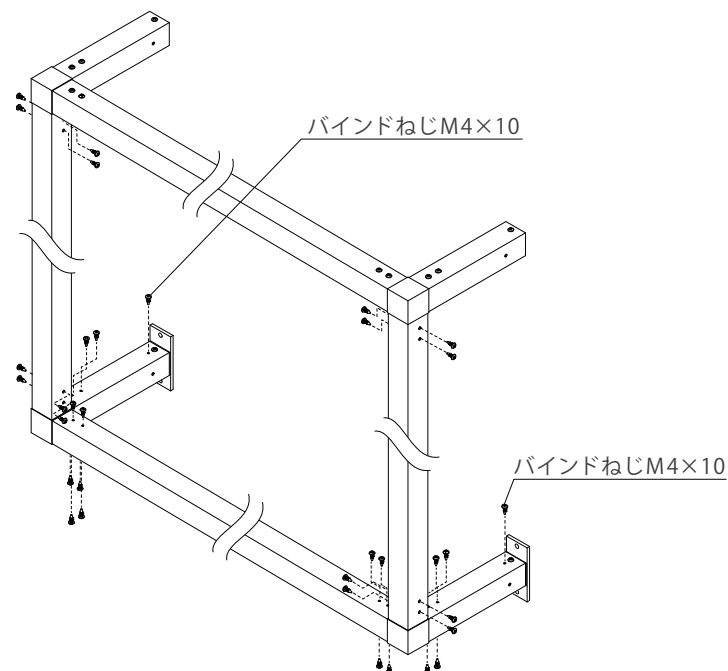
右図を参照し、ビスで固定してください。

バインドねじM4×10

ドリルネジΦ4×16

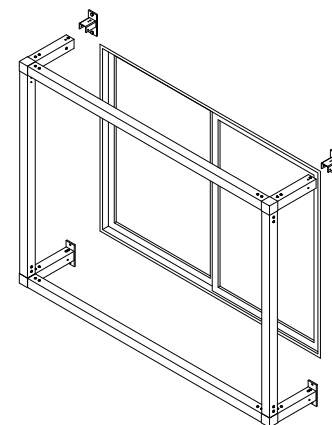


壁付ブラケットとD材を止める箇所以外すべてドリルネジΦ4×16をご使用ください。

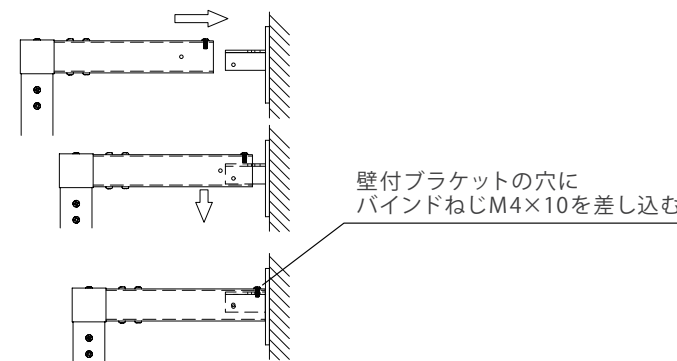


8. フレームの仮設置

組み立てたフレームをすでに取り付けた壁付ブラケットに引っ掛けてください。

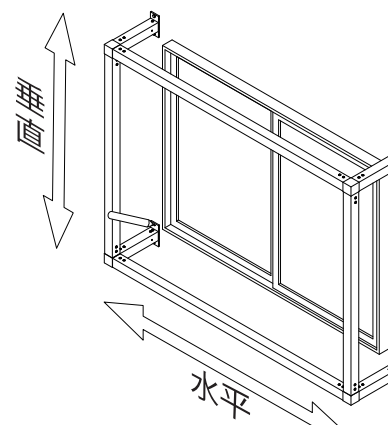


D材についているバインドねじM4×10を壁付ブラケットにひっかけてください。



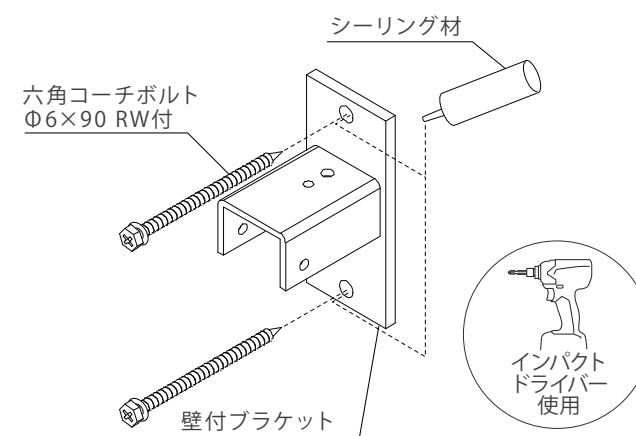
9. 下フレームの野書き

下2つの壁付ブラケットの穴位置に印を付けてください。その後、壁付ブラケットを下フレームから外してください。



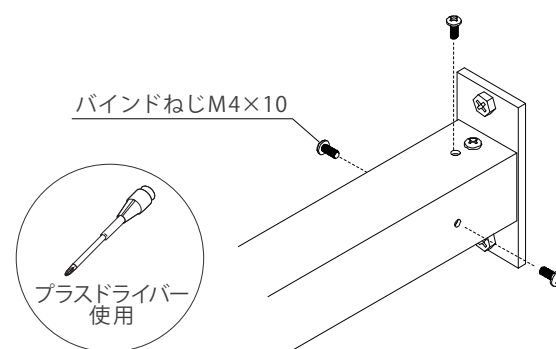
10. 壁付ブラケットの設置

印の位置に下穴Φ4.2を開け、シーリング材を充填してから壁付ブラケットをコーチボルトΦ6×90で固定してください。



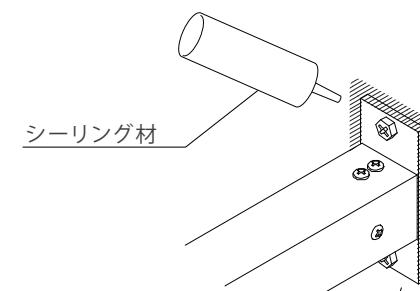
11. フレームの固定

壁付ブラケットとフレームを固定してください。



12. シーリング

壁付ブラケット上部をシーリング処理してください。



△ ブラケットの下部には行わず、雨水を排水できるようにしてください。

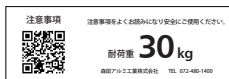
施工者の方へ

本紙裏面にご使用にあたっての注意事項が記載されていますので
施工完了後、必ず本紙をお施主様へお渡しいただくようお願いします。

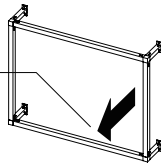
⚠ 注意事項

輸送、保管、施工時の注意

- ・本製品は一般木造住宅向けのエクステリア製品です。それ以外の建物や場所への設置、用途以外でのご使用はしないでください。
- ・お客様による製品の分解、改造はしないでください。予期せぬ事故や損害、破損につながる恐れがあります。
- ・商品到着後は速やかに検品を行い、不良などがある場合はお早めにご連絡ください。
- ・製品の取り扱い、施工時に投げる・落とす・ぶつけるなど衝撃を与えないようにしてください。傷や破損の原因となります。
- ・製品を保管する場合は壁などに立て掛けず平置きしてください。製品の転倒による事故や破損の恐れがあります。
- ・製品を保管する場合は直射日光が当たる場所を避けてください。製品が高温になり触れると火傷をする恐れがあります。
- ・ブラケットは必ず十分な強度が確保された下地に固定してください。外壁材の裏に中空部がある場合、その奥の下地に対しボルトを効かせようとすると外壁材が破損する恐れがあります。
- また、外壁材の角や縁に近い所での穴開け、ボルト締めを行った場合も外壁材が破損する恐れがあります。
- ・製品の取り扱い、施工時は必ず作業用手袋を着用してください。ケガをする恐れがあります。
- ・製品の取り扱い、施工時は必ず周囲の安全を確認してください。ケガをさせる恐れがあります。
- ・壁面に開けた下穴やその周辺には壁内に雨水が侵入しないよう必ず防水シール材を充填してください。
- ・ブラケット周辺の防水シール処理は壁内に雨水が侵入しないよう確実に行ってください。
- ・ブラケット周辺の防水シール処理は雨水が侵入した場合に排出できるよう下部には行わないでください。
- ・施工完了後、各部材やブラケットに緩みやがたつき、ビスの締め忘れがないことを確認してください。
- ・付属のボルト・ビス以外は使用しないでください。下地に対しボルトは40mm以上効くようにしてください。
- ・事故・製品の落下防止のため施工は必ず建築物の構造を理解された専門業者様が行ってください。
- ・施工は足場のしっかりした状態で、安全に作業できる人数を確保し、十分に注意して行ってください。
- ・付属のステッカーを、下側のW材の室内側の面に貼り付けてください。（お施主様への注意事項が掲載されています。）
- 貼り付けやQRコードの読み取りの際に、危険を伴う場合は、現場にて判断した安全な箇所へ貼り付けてください。



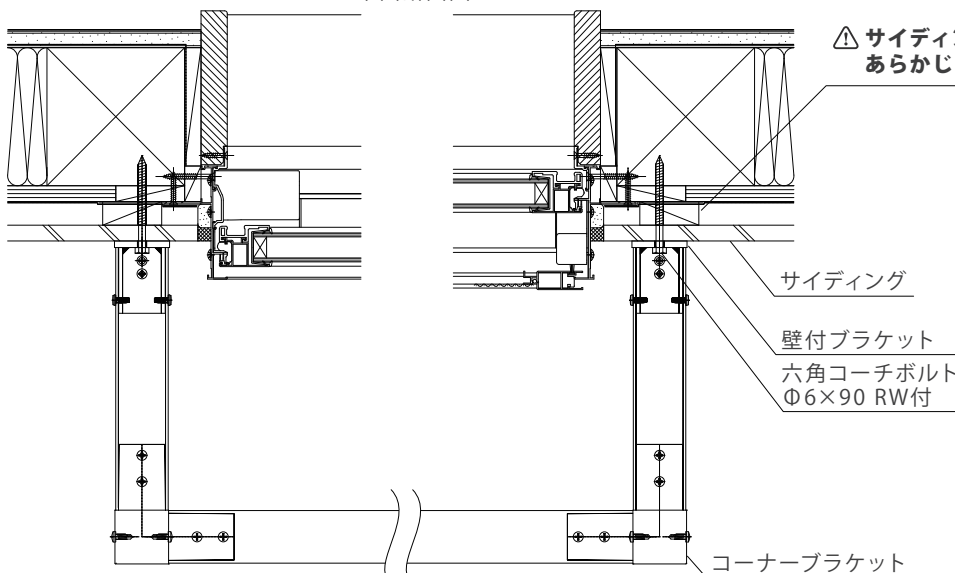
ステッカー



※ステッカーの内容は変更になる場合があります。

納まり図

平面断面図



お施主様へ

ご使用にあたり、下記の注意事項を良くお読みになり、安全にご使用ください。

注意事項

使用上の注意

- ・本製品は一般木造住宅向けのエクステリア製品です。それ以外の建物や場所への設置、用途以外でのご使用はしないでください。
- ・本製品の耐荷重は30kgです。必ず耐荷重以下でご使用ください。
- ・製品にぶら下がる、もたれかかる、上に乗るなどのご使用はおやめください。
製品の破損だけでなく、落下し重大な事故につながる恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- ・製品と壁との隙間に頭や手を入れないでください。挟まる恐れがありますので特に小さなお子様にはご注意ください。
- ・直射日光や日中の気温により製品が熱くなる場合がありますのでご注意ください。火傷をする恐れがあります。
- ・お客様による製品の分解、改造はしないでください。予期せぬ事故や損害、破損につながる恐れがあります。
- ・製品に緩みやがたつき、歪みや破損などが発生した場合は直ちに使用を中止し専門業者様に相談、修理を依頼してください。
落下やケガをする恐れがあります。
- ・強風時は使用しないでください。強風で布団やシェードなどの日除けが煽られ製品に大きな負荷が掛かることで破損する恐れがあります。また、布団やシェードなどの日除けが強風で飛ばされたり落下する恐れがあります。
- ・積雪時は使用しないでください。シェードなどへの積雪により予期せぬ事故や損害、破損につながる恐れがあります。
- ・布団を干す場合は荷重を1ヶ所に集中させるのではなくバランスよく掛けてください。
製品の歪みや破損、落下の原因となる可能性があります。
- ・布団を干す際は、布団が落下したり飛んだりしないように固定してください。
- ・布団を干したり、取り込んだりする際や、シェードなどの日除けの取付、取り外しの際は、安全に十分注意して行い、無理な体勢など、安全を確保できない状態では作業しないでください。
- ・市販のシェードなどの日除けを取り付ける場合は、紐で結ぶなどの方法で固定してください。ビスや金物を取り付けるなど製品本体に穴を開けたり、改造しないでください。
- ・シェードなどの日除けは風でなびかないようにしっかり固定してください。ケガや住宅の破損につながる恐れがあります。
- ・市販のシェードなどの日除けを使用する場合は、そちらの注意事項をよくご確認のうえでご使用ください。
- ・オプション品で用途を拡大する場合は、オプション品の説明書をよくご確認のうえ、ご使用ください。
- ・シェードなどの日除けと弊社オプション品以外の製品を取付、使用した場合の事故やケガ等の責任は負いかねます。

お手入れの方法

- ・お手入れは、安全に十分に気をつけて行ってください。
- ・汚れやホコリは、水、または中性洗剤を含んだ柔らかい布で拭いて落としてください。
中性洗剤を使用した場合は水拭きで中性洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・中性洗剤以外を使用すると、変色、劣化の原因となりますので、おやめください。
- ・お手入れは、定期的に行ってください。
- ・一年に一回、ネジなどに緩みがないか点検してください。点検の際は、安全に十分に気をつけて行ってください。